



〒690-0061

松江市白潟本町 43 スティックビル 4階

☎0852-28-5500 fax0852-28-1800

✉shimane-sc@ouj.ac.jp

だんだん



学生研修旅行～雲南市から奥出雲へ 鉄（たたら）の技と暮らしを訪ねて！～

- ◆所長より 2
- ◆客員教員の「談・談」 3
- ◆行事の案内 4～7
- ◆行事の報告 7～8
- ◆お知らせ 9～13
- ◆島根同窓会通信 13
- ◆スケジュール（1・2・3月） 14





汽水湖の人類学から

放送大学島根学習センター所長 出口 顕

秋田学習センター発行の『ばっけ』106号の巻頭に客員准教授の小倉拓也氏が『湖の哲学』に向けて」を寄稿されている。これがなかなか刺激的で面白い。湖を哲学するとはどういうことか。氏は、自らが専門とされるフランスの哲学者ドゥルーズの「無人島の哲学」を着想のヒントにして、(無人島をとり囲む)海との対比で湖をめぐる想像力の可能性を捉えようとされている。

海が、陸から開かれているが故に日常の全き外部へ大々的に突き抜けていく自由であるのに対して、陸のなかにとじている湖は日常のただなかに小さく穿たれる自由である。海をめぐる想像力には不可視の外部、別の世界への希求があるが、湖にはだいそれた「向こう」はなく、目視が可能な「対岸」しかない。それゆえ海をめぐる想像力が「こことは違うどこかを」(ユートピア)を目指すのに対して(「海にお船を浮かばせて、行ってみたいなよその国」という歌にあるとおりだ)、湖は「このなかにここ以上のものを見出そうとする」ヘテロトピアではないかというわけだ。

この二項対立にはなるほどどうならされるのだが、経験論的に異論がないわけではない。琵琶湖という淡水の湖のほとりで育ち、やはり淡水である田沢湖や十和田湖のある秋田で暮らす氏とは違い、日本海の手前の村で過ごした後、宍道湖に面した松江市で育った私には、湖は「陸のなかに閉じている」とは必ずしもいえない。宍道湖はそれとつながる中海と共に淡水ではなく淡水と海水のまざった汽水の湖であるからだ。汽水湖は他に浜名湖やサロマ湖(かつての八郎潟も)があり、対岸の向こうへも汽水域の想像力は開かれているといえる。汽水がしめる水域を汽水域(エスチュアリー)という。

一方の海も、自由にのみ開かれていたわけではない。19世紀以前の西欧では、海は死と隣り合わせの危険な領域であり、海から離れたところに海に背を向けるように集落が形成されていて、(小倉氏の嫌いな)海水浴など考えられもしなかった。海に入る人は、狂犬病や精神的病を治療するためになかば強制的にそこに放り込まれたのである(海野弘『プルーストの浜辺』)。

また私が過ごした日本海の手前の砂浜にはハンゲルが書かれた漂流物が流れ着いていた。韓国・北朝鮮を想像させた海は、私にとって無限には開かれていたとは必ずしも言えない。近年では竹島=独島という日韓の政治問題を抱える水域でもある。

私は小倉氏の揚げ足をとりたいのではない。『湖の哲学』の完成を鶴首している。海と湖をユートピア/ヘテロトピアとして捉えるという想像力は、特定の場所と時代によって成型されたものであることを忘れてはいけないのではないかと指摘したいだけである。

さらにまた「淡水湖」のように閉じた学習センターの機関誌が、汽水湖のように開かれたものにしてレスポンスが行き交う場になればという思いもある。もっとも小倉氏がこれを読んでもかかわらないけれども。



忘れられない言葉

客員教授 大谷 みどり

コロナが収束し、また円安も影響して、松江でも海外からの観光客を多く目にするようになりました。また日本で仕事をする海外の人も増えていますが、日本人同士であっても出身地やそれぞれの家庭の方針等で、大切にしていることは多様です。出身国が異なれば尚更のことですが、人間として共通で大切にしていきたい部分も多々あります。例えば平和への思いや、嬉しい・悲しい等、同じように感じ共有できる感情です。このような思いに関連し、アメリカで経験した、とても嬉しい一言をご紹介します。

二人の子どもを連れてアメリカで博士課程に取り組んでいた時のことです。滞米2年が過ぎ、上の子が3年生初日のことでした。アメリカは日本のような学年・学期ごとの始業式はなく、9月の新年度開始日は新しい教室に出かけ、新しい担任の先生と出会うことから始まります。初めて出会う担任の先生に私は、「私たちは日本から来ていて、娘はまだ英語を十分には話せたり理解できないところがありますので、どうぞよろしくお願ひします」的な挨拶をしました。その時、担任の先生が娘に、「言葉が二つも分かるって、とっても素敵ね。私は英語しか分からないのよ。」と言われたことが、今でも忘れられません。はにかみながら、とても嬉しそうにしていた娘の表情も印象的でしたが、この担任の先生の一言が、いち外国人児童をどれほど安心させ、勇気づけたことでしょう。また、これは国や文化を超えての言葉だと感じます。私たちは大変なことに目を向けがちですが、よい面も大切にしながら、またグローバル化・多文化化が進む中、人間としての共通部分・お互い共鳴できる面を大切にしていきたいと、改めて感じるこの頃です。



因果説明

客員教授 村瀬 俊樹

「風が吹けば桶屋が儲かる」ということばを、私は、「無理やりこじつけた関係」のたとえだと思っていた。しかし、調べてみると、本来の意味は「一見すると関係がないような意外なところに影響が及ぶこと」のたとえであり、私のとらえていた意味は二次的な使われ方らしい。

このことばの意味を調べてみようと思ったのは、因果説明の仕方をどうするべきかについて考えるところがあったからである。ある時点のある領域での発達が、様々な領域に互いに影響を与えあいながら、次の時点での発達過程を引き起こしていくという発達のカスケードの考え方が注目されている。たとえば、姿勢・運動や認知など、様々な要因がことばの獲得につながっていることが明らかにされてきている。また、心・行動の文化による違いについて、自然環境が生業形態に影響を与え、それが社会制度に、さらには人の心・行動に影響を与えるという社会生態学的観点からの研究も蓄積されてきている。

これらの説明は、AがBに影響を与え、AやBがCに影響を与え・・・という多方面からの因果の連鎖で、複雑な人の心・行動を説明しようとするものである。とても魅力を感じる説明なのだが、それらと「風が吹けば・・・」との違いは何かと思ったのである。

違いは、AとB、BとCのように直接関係するものどうしの関連性の強さや、全体としての説明力ももちろんあると思うが、それだけだろうか。因果の流れがある一つの方向性をもっていると納得できる何かがありそうにも思うが、納得できるかどうかは何に基づいているのだろう。

こんなことを考えたのは寒さのせい・・・という因果関係は、たぶんない。

◆ 行事の案内 ◆

学位記授与式・入学者の集い

期 日：3月24日（日）

場 所：スティックビル3階 第1講義室

日 程：10：40～ 学位記授与式
13：30～ 入学者の集い

入学説明会・相談会

2024年4月入学に向けた「入学説明会・相談会」を開催します。
ご家族、友人、お知り合いの方々にぜひご紹介ください！
いつでも、だれでも、自由な学びを あなたの学びを応援します！

出願受付期間は11/26～3/12です。

入学説明会・相談会の12月～3月の予定は次のとおりです。

○松江会場	12月23日（土）10時～、14時～	島根学習センター
	2月10日（土） //	//
	3月3日（日） //	//
○出雲会場	1月7日（日）13時～	出雲中央図書館
	2月25日（日） //	//
○浜田会場	1月28日（日）10時～	県西部社会教育研修センター
	2月16日（金）9時～	//
○益田会場	1月27日（土）14時～	益田市立図書館
	2月15日（木） //	//

初心者のためのインターネット利用教室

インターネットで、教務情報システム（システムWAKABA）を利用すると、いつでも授業を視聴することができます。また、Web通信指導の提出や単位修得状況の確認などできます。この教室では、システムWAKABAの操作方法を中心にを行います。ぜひご参加ください。

1/31（水）、2/28（水）、3/27（水） 15：00～17：00

学習相談

学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について、客員教員等による対面またはオンライン方式で学習相談を実施します。

■学習相談票に相談内容を記入し、相談日の3日前までにご提出ください。

■相談時間 お一人1時間以内

教員名 (専門分野)	学習相談日	
荒川正晴 (東洋史学)	1月	12日(金) 13:00~16:00
	2月	2日(金) 13:00~16:00
		9日(金) 13:00~16:00
	3月	8日(金) 13:00~16:00
		15日(金) 13:00~16:00
安齋有紀 (フランス語学)	1月	25日(木) 9:30~12:30
	2月	1日(木) 9:30~12:30
		15日(木) 9:30~12:30
	3月	14日(木) 9:30~12:30
		21日(木) 9:30~12:30
大谷みどり (異文化コミュニケーション・ 英語学習における支援)	1月	9日(火) 10:30~13:30
	2月	17日(土) 9:30~12:30
		22日(木) 13:00~16:00
	3月	16日(土) 9:30~12:30
		28日(木) 10:00~13:00
尾崎浩一 (生物学・分子生理学)	1月	9日(火) 14:00~17:00
	2月	6日(火) 14:00~17:00
		13日(火) 14:00~17:00
	3月	12日(火) 14:00~17:00
		19日(火) 14:00~17:00
高須晃 (地質学・岩石学)	1月	9日(火) 13:30~16:30
	2月	13日(火) 13:30~16:30
		27日(火) 13:30~16:30
	3月	5日(火) 13:30~16:30
		19日(火) 13:30~16:30
村瀬俊樹 (心理学)	1月	9日(火) 9:30~12:30
	2月	1日(木) 9:30~12:30
		13日(火) 9:30~12:30
	3月	6日(水) 9:30~12:30
		19日(火) 9:30~12:30
出口顕 (文化人類学)	随時(出勤日)	

【問合せ】放送大学島根学習センター ✉shimane-sc@ouj.ac.jp

〒690-0061 松江市白潟本町43 スティックビル4階 ☎0852-28-5500 fax0852-28-1800

だんだんセミナー

「ユーラシアの異文化交流」 講師：荒川 正晴 客員教授	
2月16日(金) 14:00~ 15:30	ユーラシア大陸は、その周辺に広がる海域世界を含めて、古来、様々な文化が交流してきました。「東西交流」とも呼ばれ、シルクロード史研究の主要な研究テーマとなってきました。本セミナーでは、歴史的にどのような文化が交流してきたのか、具体的に取り上げてゆきたいと思います。現在のユーラシアの文化が、そうした交流の産物であることを実感してもらえればと思います。
「フランスの文化と言葉」 講師：安齋 有紀 客員准教授	
3月1日(金) 10:00~ 11:00	フランスは首都パリを中心に諸芸術、ファッション、食など、様々な分野で世界から注目される国の一つです。このセミナーではこのような華やかな側面だけでなく、言論・社会運動の特徴や現在の移民社会が抱える課題なども含め、多民族・多文化が共生するこの国の独自性について、私の留学経験も交えながらお話しします。また、ヨーロッパという多民族・多文化社会でフランス語が一つの言語としてどのように形成されてきたのかなど、他のヨーロッパ言語との関わりに触れながら、フランス語の特徴についてもお話しします。
「生物たちの生きる仕組み」 講師：尾崎 浩一 客員教授	
3月26日(火) 14:00~ 15:30	いろいろな生物のいろいろな「なぜ？」について、特に生物が持つ様々な機能に関して、そのメカニズムの観点から受講者と一緒に考え、知る楽しさを分かち合いましょう。予備知識は特に必要ありません。
「岩石と鉱物の世界—島根の地質・岩石・鉱物—」 講師：高須 晃 客員教授	
3月16日(土) 14:00~ 15:30	このセミナーでは、島根地質百選（島根県内の100のジオサイト＝地質・岩石・鉱物見学サイト）に選定されている島根県内の地質、岩石、鉱物について、できるだけ実際の標本やサンプルを解説します。また、私が国内外から採取してきた、めずらしい岩石や鉱物も紹介する予定です。
「日常生活において誰にでも見られる心の働き」 講師：村瀬 俊樹 客員教授	
2月27日(火) 10:30~ 12:00	私たちが日常生活で行う様々な行動には必ず「心」がともなっています。本セミナーでは、私たちの誰もが日常生活の中でよく行っている行動に働いている「心」の仕組みを、実験・調査の結果を紹介しながらお話ししたいと思います。こんなことにも「心」が関係していて、それがこんな実験や調査で調べることができるということを皆様とともに考えてみたいと思います。

だんだんセミナーは、5名の客員教員を講師に開催しています。
 お気軽にお申込みください！

問い合わせ TEL：0852（28）5500 メール：shimane-sc@ouj.ac.jp

(注1) 窓口・電話・メールでの事前予約をお願いします。

(注2) だんだんセミナーは、一般の方も参加できます。

(注3) 松江市に暴風警報や特別警報等が発令された場合は、中止します。

(注4) 白潟駐車場をご利用の方は、一律200円券をお渡しします。

ゼミ

下記のゼミを開催しています。

担当講師	日 程	テ ー マ
荒川 正晴	・1/26 (金) 14:00~15:30 ・3/29 (金) //	中央アジアの社会と文化
安齋 有紀	・2/8 (木) 10:00~11:00	新しく学ぶ外国語
大谷みどり	・2/10 (土) 10:30~12:00 ・3/7 (木) 13:00~14:30	英語学習における工夫と支援
尾崎 浩一	・2/20 (火) 14:00~15:30	生物の不思議～分子から生態まで～
高須 晃	・2/6 (火) 14:00~15:30	島根の地質・岩石・鉱物
村瀬 俊樹	・1/30 (火) 10:30~12:00 ・3/26 (火) //	実験・調査による体験を通して学ぶ心理学

※2024年第1学期のゼミについてはP10~11をご覧ください。

◆ 行 事 の 報 告 ◆

公開講演会

10月、11月に公開講演会を開催しました。

「ことばの獲得をささえるもの」

講 師：村瀬 俊樹 氏

島根学習センター客員教授

日 時：10月28日(土) 10:00~11:30

会 場：出雲市役所くにびきホール

参加者：25名



「岩石と鉱物の世界」～日本の国石：翡翠・ヒスイ・ひすい～

講 師：高須 晃 氏

島根学習センター客員教授

日 時：11月11日(土) 14:30~16:00

会 場：浜田市 いわみーる

西部社会教育研修センター302 研修室

参加者：15名



「岩石と鉱物の世界」～日本の国石：翡翠・ヒスイ・ひすい～

講 師：高須 晃 氏

島根学習センター客員教授

日 時：11月12日(日) 10:00~11:30

会 場：益田市立図書館視聴覚室

参加者：16名



面接授業

『斜面災害の発生と対策』

講師： 小暮哲也氏（島根大学総合理工学部・准教授）
期 日： 2023年10月21日（土）、22日（日）
場 所： 島根学習センター、雲南市大東町山王寺

日本の国土面積の約75%は山地で占められているといわれ、毎年のように斜面災害（土石流、がけ崩れ、地すべり）が発生しています。今回の面接授業では、1日目は斜面災害の発生メカニズムや対策、空中写真を使った地すべりの判読作業を学び、2日目の午前には雲南市山王寺の棚田を訪れて、地すべりの発生現場と土地の利用を見学しました。

山王寺の棚田は地すべりによって傾斜が緩やかになったことで耕作に適すようになり、地すべりの要因の一つとなった豊富な地下水は稲作に利用され、災害と共生する土地となっているとのことでした。

午後は学習センターに戻って斜面災害の対策を学び、斜面災害への理解を深める授業となりました。



学生研修旅行

～ 雲南市から奥出雲へ 鉄（たたら）の技と暮らしを訪ねて！ ～

期 日： 2023年11月12日（日）
訪問先： 雲南市吉田町「菅谷たたら山内」
 仁多郡奥出雲町「絲原記念館」「奥出雲たたらと刀剣館」

四年ぶりとなる、バスを借り上げての学生研修旅行に行ってきました。

前日来の雨の影響からか、最低気温が1桁台となる中、参加者10名は肌寒さを感じながら雲南市吉田町と仁多郡奥出雲町に向かって出発しました。

菅谷たたら山内では、砂鉄から鋳（ケラ）と呼ばれる鉄の塊ができるまでの“たたら製鉄”の工程や山内での人々の暮らしについて、絲原記念館では“たたら”がもたらした地域の繁栄や後世に与えた影響について、最後に奥出雲たたら刀剣館では上質な玉鋼から日本刀を打ち出す鍛錬の様子を見学し、それぞれ説明を受けました。

絲原記念館では、元松江藩鉄師頭取を務めた絲原家の16代目次期当主から直接説明をしていただくなど、訪れた先々での案内役の話し術が巧みで、参加した皆さんから次々と質問が投げかけられる、知識欲を刺激する研修旅行となりました。



◆ お 知 ら せ ◆

単位認定試験

『学生生活の菜』 教養学部 65~78 頁 大学院 67~76 頁

下記の日程で単位認定試験が実施されます。必ずこの期間に受験してください。

- Web 受験方式（試験期間）
2024年1月16日（火）9：00～1月24日（水）17：00
- 郵送受験方式（提出期間）3科目のみ
2024年1月16日（火）～1月24日（水）《必着》
※「正多面体と素数（'21）」「日本美術史の近代とその外部（'18）」「量子化学 19）」



忘れずに!

Web 試験体験会：1月9日（火）10：00～11：00、14：00～15：00

履修相談

履修計画の立て方、科目登録の仕方など、お気軽にご相談ください。
いずれの会場も 1人30分程度、**要予約** 島根学習センターまで申込願います。

場 所	相談日	時 間	申込〆切
島根学習センター	2月13日（火）	10：00～12：00 14：00～17：00	2/10（土）
	17日（土）		
	18日（日）		
益田コーナー （益田市立図書館）	2月15日（木）	14：00～17：00	2/13（火）
浜田コーナー （いわみーる 3 階）	2月16日（金）	9：00～12：00	

卒業研究発表会の開催

一年遅れとなりましたが、2022 年度に卒業研究を履修された皆さんの研究発表会を下記のとおり開催します。

卒業研究の履修を考えている方、卒業研究とはどのようなものなのか興味がある方もそうでない方も、一度、発表会に足を運んでみてください。

期 日： 2024 年 2 月 10 日（土） 14 時 00 分 ～ 15 時 00 分

会 場： 島根学習センター 3 階 第 1 講義室

2024 年度第 1 学期ゼミ

2024 年度第 1 学期の客員教員によるゼミは、以下のとおりです。
申込方法など詳細については、3 月以降に放送大学島根学習センターのウェブサイトなど
でお知らせします。

「文化人類学の考え方と日本社会」

講師：出口 顕 島根学習センター所長

宮岡真央子・渋谷努・中村八重・兼城糸絵編『日本で学ぶ文化人類学』（昭和堂、2021 年）
をテキストに使用します。幾つかの章を選んで担当を決めて受講生にその内容を発表して
もらいます。それをもとにディスカッションをしながら、文化人類学の考え方と、文化人類
学を通して日本社会を見たらどのようなようになるかを学んでいきます。ゼミの最初ではレジュ
メ(論文の要旨のまとめ)の作り方についてもお話しします。

(定員：6 名)

「古文書を読み解く」

講師：荒川 正晴 客員教授

シルクロードの主要舞台である中央アジアからは、20 世紀初頭以来、多くの言語と文字
による古文書が出土しています。これらの古文書は、中央アジアの歴史研究を進めるう
えで重要な史料となってきました。本ゼミでは、この中から漢文およびソグド文・ウイ
グル文により作成された公私の文書を解読し、その内容を読み解いてゆきます。併せ
て、歴史学とはどのような学問なのか、その方法論と考え方も学び取って頂ければと思
います。

(定員：10 名)

「言語と文化—外国語の学びから考える—」

講師：安齋 有紀 客員准教授

このゼミでは、「外国語」の学びを通して、母語と外国語の発想の違いや、言語と文化の
関係について考えていきます。対象言語はフランス語で、初歩から学んでいきます。

(定員：10 名)

「英語学習における工夫と支援」

講師：大谷 みどり 客員教授

英語を学ぶ際における驚きや難しさを、日本語との違い、学習者個人の特性等を分析しな
がら、自分もしくは周囲の学習者にあった学び方を考えていきます。

(定員：10 名)

「生物の不思議 ～分子から生態まで～」

講師：尾崎 浩一 客員教授

生物学に関して興味のあるテーマを自ら設定し、それについて論文、図書、ネット等を利用して各自で調査してもらいます。テーマは、分子レベルから細胞、組織・器官、個体、個体集団に至るまで、自分の興味に従って選定してください。初回にイントロダクションを行い、ゼミの進め方について説明します。以降は各自の進捗状況の報告と参加者によるディスカッションを行い、最終回には成果報告会を実施します。

(定員：4名)

「実験・調査を通して知る心の仕組み」

講師：村瀬 俊樹 客員教授

私たちの心は1人1人違いますが、ある程度共通した心の仕組みも見られます。他者の心は目には見えませんが、質問や実験刺激への反応など何らかの形で目に見える形で取り出し、一般的な人の心の仕組みを科学的に検討することは可能です。このゼミでは、私たちの誰もが日常のありふれた場面を感じる心の仕組みを、これまでに行われた実験や調査の結果を検討し、簡単な実験や調査を体験することで考えていきます。

(定員：15名)

図書・視聴室

◆図書・放送教材の貸出

	貸出し数等	期間	学生生活の栞
附属図書館 所蔵図書	教養学部生 10冊 大学院生（修士）20冊 大学院生（博士）30冊	1ヶ月迄	教養学部 106～108頁 大学院100～102頁
放送教材 郵送貸出	DVD・CD合わせて5枚以内	20日 以内	教養学部 32～35頁 様式 17 大学院44～47頁 様式 16

◆図書・視聴室の利用時間

開所時間	9：30 ～ 17：30
------	--------------

◆第2水曜日は閉室

毎月第2水曜日は、スティックビル休館日のため、図書・視聴室を閉室とします。

◆単位認定試験期間中

1/16（火）～1/24（水）は、単位認定試験を島根学習センターで受験する方以外の図書・視聴室利用ができませんのでご了承ください。
（島根学習センターで受験する方は、受験日のみ使用できます。）

次学期の出願（継続入学）及び科目登録について

『学生生活の栞』 教養学部 55～58・91～93 頁 大学院 56～62・90 頁

放送大学は2学期制をとっています。あなたの学籍は次学期も続いていますか。次学期（2024年度第1学期）の申請手続きは、「学籍の有無」、「学生の種類」などにより異なります。ご確認の上、手続きを行ってください。

あなたの学籍はどうなっていますか？

今学期末で学籍が切れる方で
引き続き本学に入学を希望される方
出願（継続入学）

1月中旬に大学本部から

◆ **継続入学の案内** 送付

次学期も学籍が続く方
科目登録

1月中旬に大学本部から

◆ **科目登録申請要項** 送付

★出願手続き

第1回または第2回募集の出願期間内に、
インターネットまたは**郵送**で出願してください。
(インターネット出願はシステムWAKABAの「継続入学申請」からできます。)

第1回募集
11月26日(日)～2月29日(木) 【私書箱必着】
第2回募集
3月1日(金)～3月12日(火) 【私書箱必着】

- * 原則として3月上旬以降に選考結果通知と払込取扱票が届きます。
- * 次学期に再試験のみ希望される場合も、継続入学の手続きが必要です。
- * 面接授業の登録申請も希望する方は **科目登録申請期間中(2月13日9時～2月29日24時)** に**学生募集要項6～7頁参照のうえ、システムWAKABAにて出願を行ってください。**

★科目登録申請

申請期間内に、**郵送**または**システムWAKABA**で登録申請をしてください。

郵送	2月13日(火)～2月28日(水) 【私書箱必着】
WAKABA	2月13日(火)9:00 ～2月29日(木)24:00

- * 本部から科目登録決定通知と払込取扱票が届きます。
- * 申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」が到着しない場合は、大学本部(Tel 043-276-5111 総合受付)へお問い合わせください。
- * 面接授業の科目登録を希望される方は、併せて申請してください。

※ 面接授業は、学期当初の登録だけでなく、空席のある科目については学期途中に各学習センターで追加登録ができます。

科目数、単位数は学習計画や自分のペースに合わせて選択してね。



学習センター在籍状況（令和5年2学期）

◆学生の種類別

教養学部	全科履修生	326	439名	大学院	修士全科生	5	23名
	選科履修生	81			修士選科生	12	
	科目履修生	30			修士科目生	4	
	特別聴講生	2			博士全科生	2	
令和5年度第2学期在籍者数合計 462名							

◆市町村別（学部と大学院の合計数）

松江市	194	大田市	12	隠岐の島町	2	米子市	55
安来市	17	江津市	5	西ノ島町	1	境港市	14
出雲市	88	浜田市	15			大山町	5
雲南市	13	益田市	7			日南町	4
奥出雲町	6	美郷町	1			南部町	3
飯南町	3	邑南町	1			その他	16
東部計	321	西部計	41	隠岐計	3	県外計	97

島根同窓会通信 (44) 2023年12月現在 会員数75名

昨年10月28日(土)～29日(日)の2日間、神々が出雲に集う10月(神在り月)、松江市「サンラポーむらくも」を会場に、第9回放送大学同窓会中四国地区交流会を島根の担当にて開催した。

交流会は、中四国の同窓会が順番で担当して開催されるもので、第1回は2013年に香川同窓会が担当で開催、今回で一巡する交流会となった。

島根は同窓会設立2年目で、第2回広島での交流会から参加した。

今回は初めて放送大学本部の岩永学長が出席。連合会からは南谷会長、須藤副会長など各組織の責任者が揃って列席するという大変賑やかで、過去に体験したことのない感激の交流会となった。

各同窓会からの意見交流では、主に①卒業生は誕生するも同窓会に入会する人は少なくなる、②役員の高齢化と中々補充が叶わず、同窓会の運営に支障が発生し、打開するため成功している取り組み事例を報告して交流を深めた。休憩中には“おもてなし”で抹茶と生菓子にて松江の古き文化を体験。

特に岩永学長からは、放送大学—最近の話題—として、①2020年から続いたコロナ禍も、2類から5類相当に指定変更され、放送大学体制もポストコロナ期に移行しつつある。同時に現代社会では技術革新が進み、ITC・AIの活躍の場が急速に拡大して各分野でのDXが進んでいる。この二つの環境変化の下、放送大学は新時代における大学の今後を概観して検討へと報告。



交流会後に開催した懇親会では、岩永学長と身近に接することで、今後の大学運営について直接意見交換をすることができた。私は名誉学生の位置づけ、再入学での卒業要件とする16単位ではなく、以前の30単位とする新カリキュラムの廃止を主張した。
(文責：竹下)

スケジュール Schedule

【ゼ】ゼミ

【セ】だんだんセミナー

【相】学習相談日

●面接授業

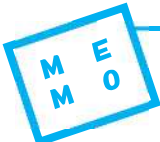
1月		行事	面接授業
1	月	閉所日	
2	火	閉所日	
3	水	閉所日	
4	木	閉所日	
5	金		
6	土		●地域社会論 ●古墳時代出雲の考古学
7	日		
8	月	閉所日	
9	火	【相】大谷・尾崎 ・高須・村瀬	
10	水		
11	木		
12	金	【相】荒川	
13	土		
14	日		
15	月	閉所日	
16	火		単位認定試験
17	水		
18	木		
19	金		
20	土		
21	日		
22	月	閉所日	
23	火		
24	水		
25	木	【相】安齋	
26	金	【ゼ】荒川	
27	土		●西洋美術の楽しみ方
28	日		
29	月	閉所日	
30	火	【ゼ】村瀬	
31	水		

2月		行事	面接授業
1	木	【相】安齋・村瀬	
2	金	【相】荒川	
3	土		
4	日		
5	月	閉所日	
6	火	【相】尾崎 【ゼ】高須	
7	水		
8	木	【ゼ】安齋	
9	金	【相】荒川	
10	土	【ゼ】大谷	
11	日	閉所日	
12	月	閉所日	
13	火	【相】尾崎・高須・ 村瀬	
14	水		
15	木	【相】安齋	
16	金	【ゼ】荒川	
17	土	【相】大谷	
18	日		
19	月	閉所日	
20	火	【ゼ】尾崎	
21	水		
22	木	【相】大谷	
23	金		
24	土		
25	日		
26	月	閉所日	
27	火	【相】高須 【ゼ】村瀬	
28	水		
29	木		

3月		行事	面接授業
1	金	【ゼ】安齋	
2	土		
3	日		
4	月	閉所日	
5	火	【相】高須	
6	水	【相】村瀬	
7	木	【ゼ】大谷	
8	金	【相】荒川	
9	土		
10	日		
11	月	閉所日	
12	火	【相】尾崎	
13	水		
14	木	【相】安齋	
15	金	【相】荒川	
16	土	【相】大谷 【ゼ】高須	
17	日		
18	月	閉所日	
19	火	【相】尾崎・高須 ・村瀬	
20	水	閉所日	
21	木	【相】安齋	
22	金		
23	土		
24	日		
25	月	閉所日	
26	火	【ゼ】尾崎 【ゼ】村瀬	
27	水		
28	木	【相】大谷	
29	金	【ゼ】荒川	
30	土		
31	日		

※単位認定試験期間中の開所時間は通常通り9:30~17:30となります。
(図書視聴室の使用はセンター受験者のみとなります。)

図書・視聴室 9:30
利用時間 ~17:30



【システム WAKABA の学内連絡を読んでいますか?】 8月10日付けの学内連絡に、「2024年度第1学期以降のパソコンを使う面接授業について重要な変更のお知らせ」が掲載されています。要約すると、「面接授業でパソコンを必ず使用していただくものに関しては、原則自身のパソコンを持参してください。」とされています。大切なお知らせを見逃さないよう、定期的にチェックしましょう。